

3 暮らしの中で息づく掘割づくり

かつての掘割は、飲料、野菜・食器の洗浄、洗濯、魚介類捕獲など暮らしの中で必要不可欠な存在でした。現在では水道や魚店にとって代わり、人と掘割の関係が疎遠になっていきました。もう一度掘割と人との新たな関係を築くことで、類まれな水郷の町の掘割が位置づけられる。

【取組】

- H 掘割の構造物(汲水場、なめし[スロープで水遊び]、遊歩道など)の保全・改修
- L 行政と市民の協働により掘割活用を検討する組織を設置
- M 掘割利用(貸しボート、水上デッキなど)のルールづくり
- 水門の堰き止めや堀掃除などの掘割イベントをSNS等で情報発信

4 掘割を守り育てる人づくり

(1) 掘割を愛する人づくり

掘割に関心が高い人は、幼少期に多くの原体験を持っていると言われている。また、SDGsの目標に合致した掘割の存在を子供たちは環境や水文化の視点で学ぶことができ、幼少期に過ごした掘割の体験は柳川を離れてからも誇れる故郷として紹介ができる。

【取組】

- N 「夏の水祭り」の競技種目やカヌーやサップ教室などを通して掘割での原体験づくりを推進
- O 小学校において掘割に関する環境教育を実施
- P 柳の植樹会等を通して掘割を愛する人々を育成
- Q 掘割の歴史機能並びに名勝指定などを研修し、柳川方式の掘割づくりや町づくりを進める熱き市民と市職員を育成
- R 柳川商店街駐車場に、広場と掘割が一体となった原体験施設「危なくない掘割の広場」を建設
- S 掘割の機能・特徴などの案内板の設置



問合せ先:水の会事務局
柳川市下宮永町 880-1
事務局長 平野幸二

柳川方式 掘割づくり提案書



はじめに

会長 立花民雄

水郷柳川の掘割は、柳川城の城堀としての役割を終えた後も、農業用水や都市の治水・利水の役割を果たすとともに、川下りや水辺の散策などにより私たちの生活の側にあって豊かなものになりました。掘割が暮らしの側にある町並みと、白秋の時代を風情と景観を醸し出してくれる柳並木のある掘割は全国でも珍しく、柳川方式の掘割文化を形作っています。

しかしながら、きれいな掘割での原体験を知る人が減り、掘割との付き合いが薄れてきています。白秋が描いた水郷柳川の「水の構圖」の頃のきれいな掘割を取り戻し、掘割のある暮らしをさらに推し進めたいと考え、昨年開催した市民参加の「お堀談義」を踏まえて、柳川方式の掘割づくりを水の会として提案します。

この提案は、川下りコースを中心とした柳河地区、城内地区、沖端地区を対象とし、市民のための、市民と行政の協働による、柳川方式の掘割づくりを目指します。

提案

1 浄化能力と防災能力を持った掘割づくり

(1)きれいな水が流れる掘割づくり

①水量の確保

昭和30年頃までは、水量が豊富で今より流れがあったと言われている。きれいな水が流れる掘割のためには、水量の確保が欠かせない。

【取組】

- A 矢部川流域との連携強化(森林保全への協力など)による水量確保
- B 流れる掘割づくりのために、堀底の高低差調査を実施し、水源涵養と生物定着促進を兼ね備えた堀底改良の実施

②浄化能力が高く、生き物が賑わう掘割

市街地を流れる掘割は、汚れやすくなるが、掘割自体の浄化能力を向上させれば汚れを低減させることができる。それとともに、きれいな水は生き物を育み、子供たちなどが親しみやすい掘割にしてくれる。

【取組】

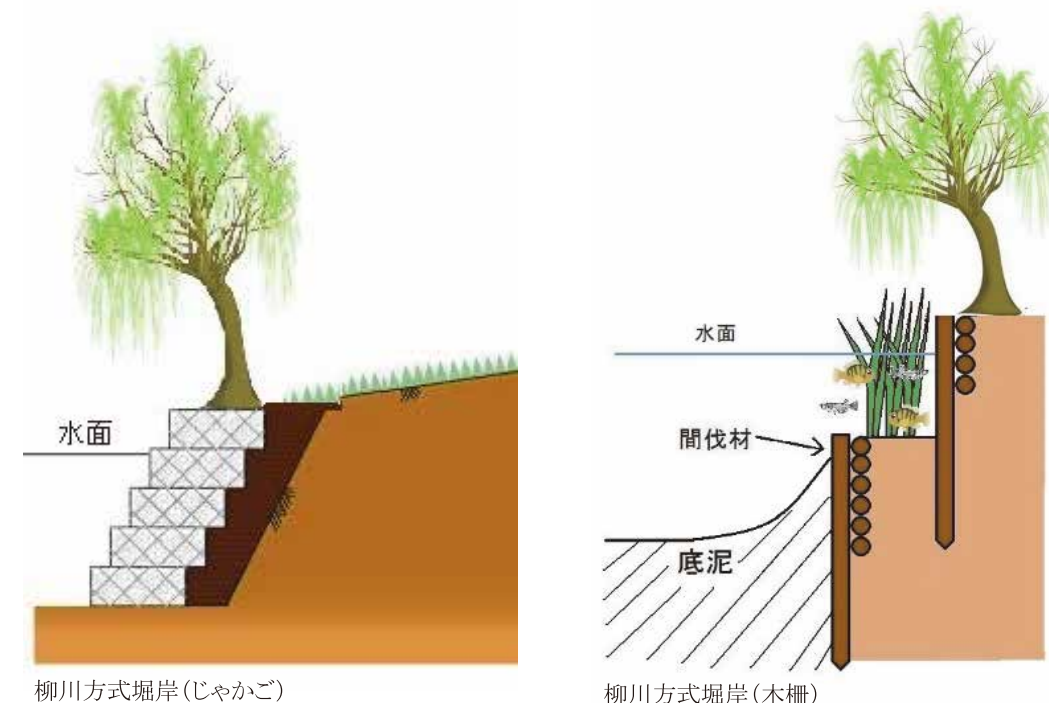
- B 流れる掘割づくりのために、堀底の高低差調査を実施し、水源涵養と生物定着促進を兼ね備えた堀底改良の実施
- C 浄化能力及び景観の向上のために柳川方式の堀岸を推進

【目標】

- ・柳川方式の堀岸モデルの設置
- ・二丁井樋の透視度 1m 以上
- ・ホタルの生息

柳川方式の堀岸

木柵や石積み(蛇籠^{じゃかご})と根固めのために柳類や雌竹、エノキ、ムクノキなどを植え込み浸食から堀岸を守る。さらに、なだらかな堀岸の泥土や水際に、菰や葦などを植生して水質浄化、水生生物の生息、景観を向上させる。



(2)もたせ機能を最大限に活用した掘割づくり

①もたせ機能の強化による防災機能の向上

干潮時にしか自然排水ができない柳川では、満潮時の大雨でも災害を防ぐための「もたせ」機能が先人の知恵と努力により約400年前から整備されてきた。しかしながら、一部掘割は狭まり、横堀も減少し、最下流地へ急激な流入が見られる。このため、もたせ機能をもう一度見直し、その機能の強化が柳川にとっては重要な防災の一つになる。

【取組】

- B 流れる掘割づくりのために、堀底の高低差調査を実施し、水源涵養と生物定着促進を兼ね備えた堀底改良の実施
- D 適切なレベルの浚渫による掘割の容積の確保
- E 縦堀横堀など各種掘割の機能解明と強化
- F 水害に備えた緊急排水体制の強化(排水ポンプの増強)
- G 掘割の水システムや樋門管理などの知識と技能を後世に伝承

2 水郷としての風情のある掘割づくり

(1)映えづくりとPR

自然と暮らしの調和に見られる掘割の景色は、白秋の詩歌のように郷愁を誘う。この「水の構圖」の風情を水郷柳川の水文化として継承し、SNS等で発信していく。

【取組】

- C 浄化能力及び景観の向上のために柳川方式の堀岸を推進
- H 掘割の構造物(橋の下のもたせ、汲水場、なめし[スロープ]、遊歩道など)の保全・改修
- I 名勝指定の取組と連携した景観形成
- J 掘割に面した建物の景観向上対策(景観コンテストなど)
- K 掘割やその利用の風景を市や観光協会からホームページや SNS 等で積極的に発信

【目標】

- ・飲食が可能な掘割デッキの設置 1カ所